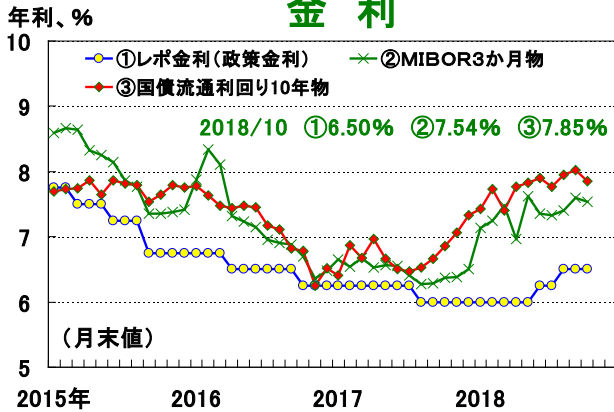


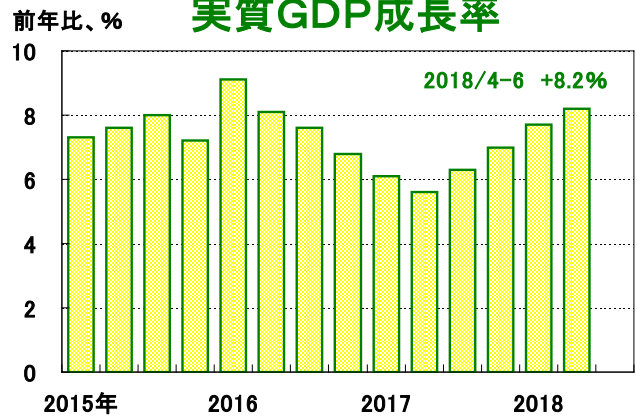
# グラフで見るインド経済 2018年11月号(No. 107)

インド景気は回復の勢いがやや弱まっている。内需をみると、9月の新車販売台数は前年比-5.6%(前月は同-2.5%)と3か月連続で前年水準割れとなった。外需に関しても、9月の輸出が同-2.1%と2018年3月以来の減少に転じた。こうした中、9月のコア産業生産指数は前年比+4.3%(前月は同+4.7%)と3か月連続で増勢を弱めている。もっとも、10月の製造業PMI(中立水準は50)は53.1(前月は52.2)と、「生産」や「新規受注」の堅調な増加により、4か月ぶりの高水準となった。製造業の景況感は2か月連続で改善している。

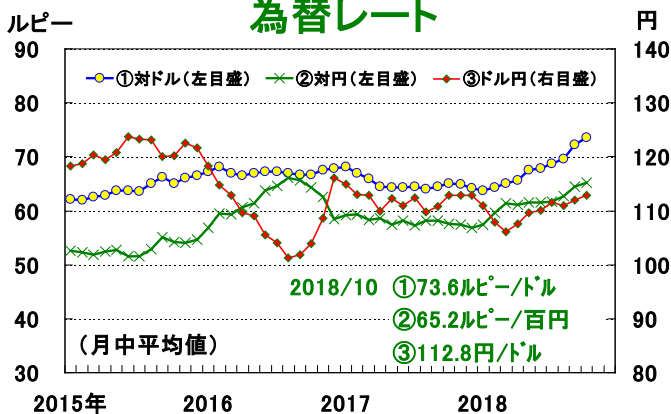
## 金利



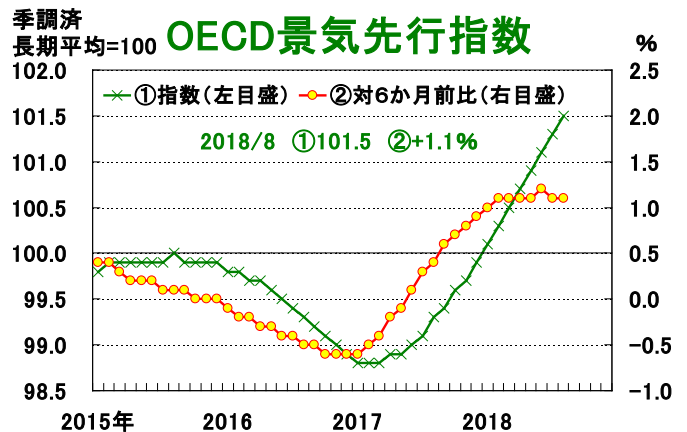
## 実質GDP成長率



## 為替レート



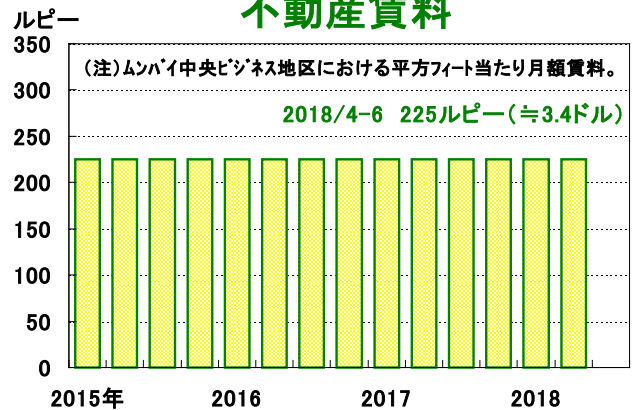
## OECD景気先行指数



## ムンバイ指数(株価)



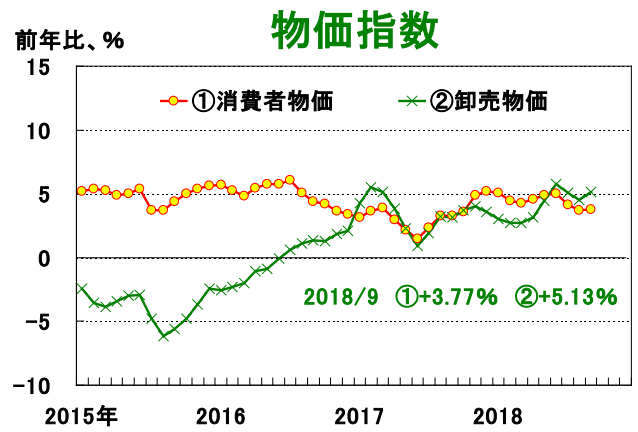
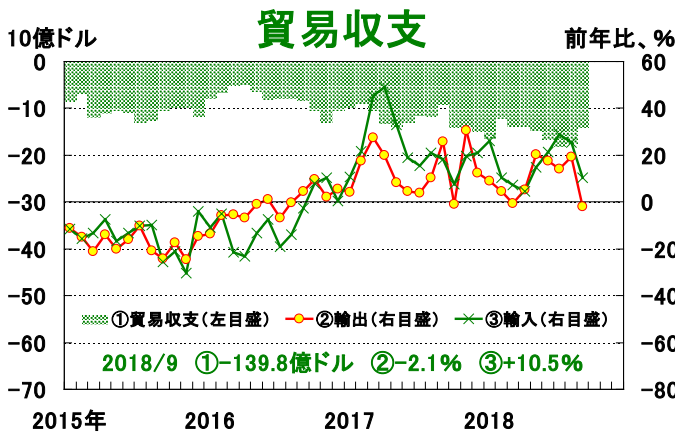
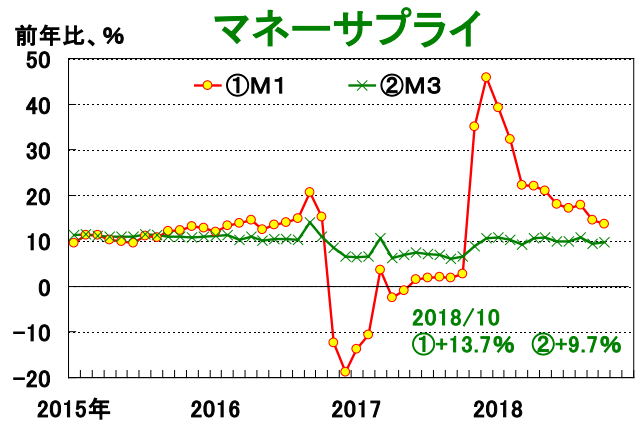
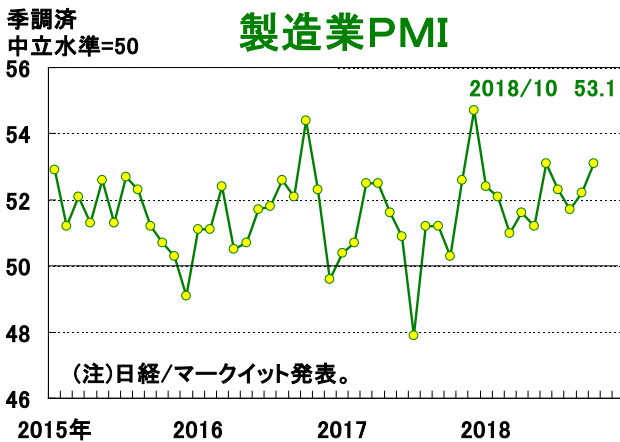
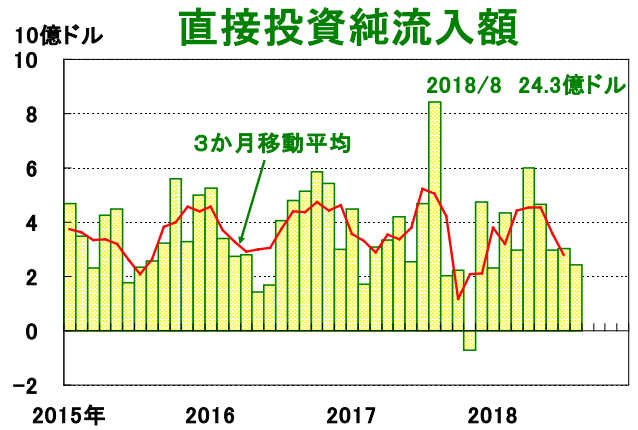
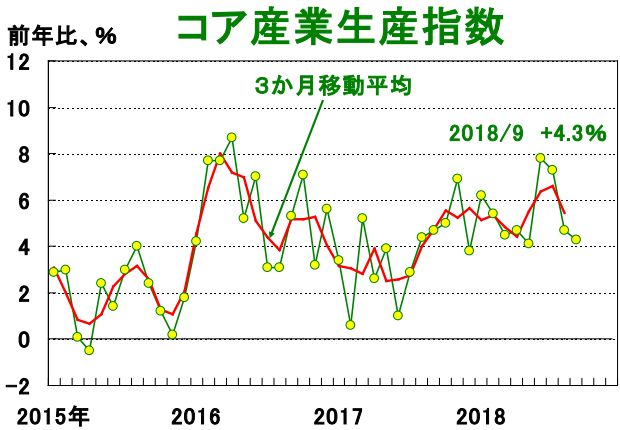
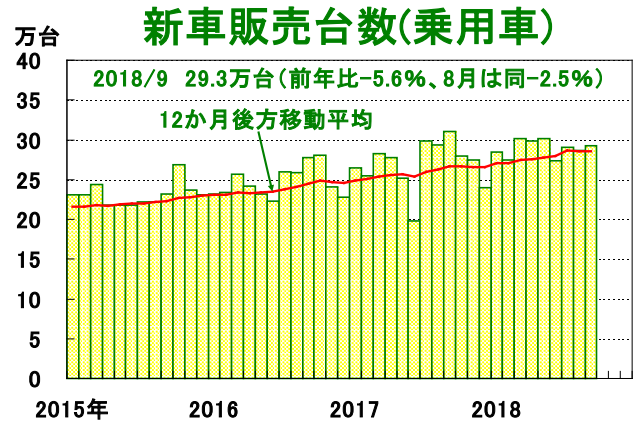
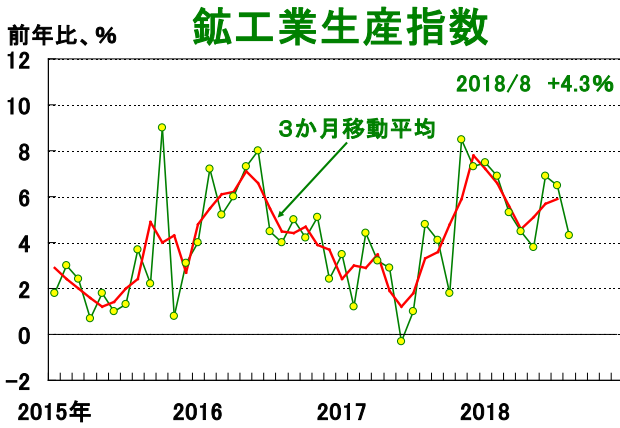
## 不動産賃料



【今月のトピック:ノンバンクの経営危機に政府が介入】8月以降、大手ノンバンクのIL&FS(インフラストラクチャー・リーシング・アンド・ファイナンシャル・サービスズ)が発行したCPや社債が相次いでデフォルトした。同社は短期のCPなどで集めた資金を長期のインフラプロジェクトに融資していたが、放漫経営により経営危機に至った。インド政府は信用不安の発生を防止するため、10月1日に同社に対し経営陣の総入れ替えに着手するなど、経営介入に乗り出した。ノンバンクに加え、銀行も不良債権問題に苦慮しており、金融機関の経営健全化がインド政府の喫緊の課題となっている。

(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。